

地方創生推進交付金 実施状況説明書

目次

かつうら観光ぷらっとフォーム事業	・・・	1
------------------	-----	---

かつうら観光ぷらっとフォーム事業 【評価 C】

担当課：観光商工課

実績額 37,256,934円（うち交付金 18,628,467円）

1. 事業の目的・概要

一般社団法人勝浦市観光協会を基軸とした日本版DMO(かつうら観光まちづくりコンソーシアム)の設立目標に向け、平成29年3月に作成した「勝浦市 観光地再生戦略書」の戦略を、目的をもって戦術として効果的に実行しながら、検証を行っていく必要があり、マーケティング、情報発信、商品造成に係る知識を有し、組織を運営・経営する専門人材を招聘し、組織内の意識や行動の目標を統一化し、浸透させながら人材の育成に努め、統一された目標を観光商品として体現化し、継続的に旅行者に選ばれ、満足度を高めていき、基幹産業の活性化を図る。また、南房総というゾーンを目的に観光をする者に対応していくために広域連携によるツアー観光の実施、安定的な財源の確保と観光ビジネスを確立させるため、空き店舗を貸借し、開発したお土産品の販売・検証、体験商品を紹介していく。

2. 事業の内容

○かつうら観光まちづくり運営事業 22,000,000円

■観光情報のワンストップサービス

コンソーシアムの運営事業を実施し、観光情報のワンストップを実現した。

ポータルサイトでは朝市のリアルタイム情報を発信した。また、観光地としての認知度の向上を目的として自然風景や旬のグルメ等画像の充実を図り、SNSと連動した情報発信を実施。

■ポータルサイト管理／観光情報発信

ホームページや紙媒体による朝市情報やレンタサイクルなどの体験コンテンツ情報発信強化を実施。SNS活用による観光スポット、観光情報の発信強化

■着地型観光商品の紹介

新型コロナ感染症対策を講じた上で開設された勝浦ウォーターアイランドを活用した夏季観光プロモーションの実施。

朝市で販売している鮮魚等の地元食材を活用した商品を開発し、かつうら商店にて販売した。朝市との連携を図る事により集客効果及びお客様の満足度向上に繋がるよう事業を実施した。

■コンソーシアム運営員の雇用（観光に関する専門員としての人材教育を内部で行う）

日本版 DMO 法人の形成・確立による観光地経営を実現するために、産官学が一体となって目標達成のための戦略構築、事業の展開を推進するため事務運営員を雇用した。

○外部から専門人材雇用 9,267,764 円

■戦略の実行・検証、マーケティング、情報発信、商品造成に係る知識及び能力を有するなど組織を運営・経営する専門人材の雇用

観光地再生戦略の実行・日本版 DMO 構築に向けた組織を運営・経営する専門人材を雇用した。

○インバウンド対策強化事業 2,993,870 円

■インバウンド受け入れ環境及び、滞在環境等に係わるコンサルティング業務

本市においては、日本武道館研修センター、国際武道大学を中心とする武道スポーツとスポーツ全般に渡る教育振興に関する拠点が存在し、並びに、日本文化に興味を持つ訪日外国人に向けては、400 年以上の歴史を持つ勝浦朝市、産業観光施設としての酒蔵、また歴史的資産としての社寺など、豊富な文化的資産を有しており、これらを複合的に活用したコンテンツ開発によって、インバウンド需要の吸収拡大を強化していく必要がある。

上記の資源を鑑みた際、本市においてはスポーツ庁が推進する「武道ツーリズム」を柱の 1 つに据える事を視野に、今後推進していく上での基盤整備を図った。

○スポーツ・ヘルスツーリズム推進事業 2,995,300 円

■スポーツヘルスツーリズムを通じた着地型観光推進に係わるコンサルティング業務

マリンスポーツ事業者等と連携し、多様な景観を有するビーチや海岸でのサーフィン、ダイビングや釣り、SUP といったマリンスポーツ等を活用した観光のツアーコンテンツとして開発することによりスポーツヘルスツーリズムを通じた着地型観光推進を図った。

3. 本事業における重要業績評価指標（K P I）

	指標名	R2目標値 (R2実績値)	R3目標値
KPI-1	交流人口(観光入込客数)	1, 405千人 (306千人)	1, 515千人
KPI-2	観光関連雇用創出者数(延べ、飲食・宿泊業含む)	250人 (38人)	335人
KPI-3	住民主導型まちづくり活動の実績(延べ)	17団体 (17団体)	21団体
KPI-4	市内宿泊客数	317千人 (216千人)	324千人

目標の達成等を阻害する要因及び状況の変化・目標達成に必要なこと(要因・課題)

【交流人口が減少している要因と課題】

観光入込客数は、2020 年度は 306,460 人(2019 年度 900,383 人前年比 593,923 人減)となり、KPIは未達成である。

2020 年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により緊急事態宣言が発出され、4月、5月の春観光を直撃した。宣言解除後についても、予定していたイベントの中止や来場者把握が困難な海水浴場が不開設となった。

また、南房総の強みである早春の観光についても、1 月から発出された2度目の緊急事態宣言により、GOTOトラベル等の施策やビッグひな祭り等のイベントが中止された事が減少の要因と分析している。

【市内宿泊客数が伸びなかった要因と課題】

2020 年度については、新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みが大きい。、1 月から発出された2度目の緊急事態宣言により、GOTOトラベル等の施策やビッグひな祭り等のイベントが中止された事が減少の要因と分析している。

要因・課題を踏まえた具体的な取組(改善策・取組方針)

【交流人口及び市内宿泊客数の減少に対する改善策】

コロナ対策を観光分野においても引き続き取り組み、WITH コロナにおける観光スタイルの確立が必要である。

また、夏季観光やイベント等のスポット型の観光ではなく、通年型の観光を確立するため、海のアクティビティや弓道を中心とした武道ツーリズムを通年型のツアーコンテンツとして、造成し、推進強化に取り組む。また、地域 DMO である一般社団法人勝浦市観光協会と連携し、社会変化に対応した情報発信を行い、積極的プロモーションに取り組むこととする。

委員意見

委員 評価	【評価等に対する意見】
	<p>担当課の評価のとおりとし、令和3年度においても改善を図り、事業を継続されたい。</p> <p>なお、コロナ禍において、感染症対策を講じたうえで観光客を呼び込めるような仕掛け、取組を構築するとともに、SNSによる情報発信についてもより効果的な活用についてを検討されたい。</p>
C	